

# 平成31年度 群馬県立ゆうあいピック記念温水プール事業計画

## I 事業内容

平成31年度は第5期指定管理5年間の2年目となります。障害者スポーツの振興では、将来のスイマー育成と、障害を持った方々が日常的に水泳のできる機会の提供と、水泳の楽しさを感じられる環境づくりに努めます。

また、「健康寿命延伸の拠点施設」として障害者、高齢者の方々がより健康で自立した生活を送ることができる支援を行うため、魅力ある新規事業を加え、障害者や高齢者に「からだに健康！ここに元気！」を提供し、地域の方々に信頼していただける施設を目指します。

さらに、当館の設置理念に共鳴していただける県内民間企業と事業を協働することにより当館独自の事業を推進し、当館のPRと利用者サービスの向上を図ります。

平成30年10月から、県条例の改定により65歳以上の高齢者の有料化となりましたが、利用料を支払ってでも利用していただける魅力ある施設を目指してまいります。

また、2020年に開催の迫った東京パラリンピックを盛り上げるため、障害者スポーツの普及と振興に努めます。

## II 重点項目

### 1 プール事業の充実

#### (1) 障害児（者）への水泳普及によるスポーツ振興（充実）

平成30年度から4教室に増設した障害児（者）対象の水泳教室の内容を見直し、より多くの障害児（者）が水泳を始めるきっかけを作りながら、体力や泳力の向上と競技会への出場や将来のアスリートを養成する教室を目指します。

- ①障害児水泳教室Ⅰ（水慣れ・水遊び）
- ②障害児水泳教室Ⅱ（水慣れ・泳ぎの導入）
- ③障害児水泳教室Ⅲ（初心者）
- ④障害児水泳教室Ⅳ（初級者）

#### (2) 健康づくり教室の計画的開催

プール利用者が、心身ともに健康で質の高い生活を送るためのサポートとなるよう、計画的に各種の健康づくり教室を開催します。

また、各種の健康教室は群馬県立県民健康科学大学と連携し、プール利用が利用者の健康や体力の維持増進に寄与しているか、効果を客観的に検証する共同事業の対象としています。

##### ①フレイル予防教室の開催（新規）

加齢による活力低下や生活機能の障害のため起こる心身の脆弱性の回復を図るため、フレイルに対する知識と効果的な水中運動を学びます。

##### ②水中運動教室の開催

メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム、サルコペニアの「三大シンドローム予防教室」を開催し、水の浮力を利用して全身のバランス能力の低下を予防します。

##### ③水中ノルデックポール教室の開催

水中専用のノルデックポールを使用した水中ストレッチと水中歩行により、効果的なりハビリや水中運動を行います。

##### ④水中運動器具ハイドロトーンを利用した水中有酸素運動の促進（拡充）

ハイドロトーン認定講習会の開催と、ハイドロトーンを効果的に使用できるよう占用コースの設置や職員が直接指導を行うなど、利用促進の方法を工夫します。

### (3) その他のプール事業

- ①水中レクリエーションの「ひまわり教室」を予約制で開催し職員が効果的に指導します(充実)。
- ②一人10分間程度の個人レッスンやビデオ撮影を行うワンポイントレッスンを予約制で行い参加者がより集中できる方法で実施します(充実)。
- ③水中歩行や泳いだ距離を記録し、群馬県1周を目指す「群馬めぐり」を行います。

## 2 利用者に「からだに健康! ころに元気!」をキーワードに開催

### (1) からだに健康塾の開催

障害者や高齢者が気軽にスポーツに取り組むきっかけ作りとなり、生涯スポーツの振興と推進や交流を図ることを目的に開催します。

- ①優良企業協賛による「PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)事業」として障害児者を対象とした「群馬ヤクルト水中運動会」や、身体障害者と高齢者等の交流を目的とした「群馬ヤクルト杯ゆうあいグラウンドゴルフ大会」を各年間1回開催します。
- ②体力、体内年齢を測定し健康管理を行う、「生き生き健康測定」を年間6回開催します。
- ③芝生広場を使用して「ゆうあいグラウンドゴルフ大会」を年間1回開催します。

### (2) ころに元気塾の開催

障害者や高齢者のメンタルケアの一環として心にゆとりが生まれ、多くの仲間を増やし孤立化やストレスを解消し充実した生活を送る一助になることを目的に開催します。

- ①障害者と健常者の交流を目的として、来場者全員が楽しめる「ゆうあいフェスティバル」を様々な企業や団体等の協賛を得て年間1回開催します。
- ②日本の伝統的な季節のイベント(こどもの日・七夕・県民の日・冬至・新年餅つき・ひな祭)を行います。
- ③職員やボランティアが講師となり、特技や趣味を指導する「文化教室」を年間2回開催します。
- ④ハイキングを楽しみ、満開の桜の下で昼食をとる「健康ハイキング」を年間1回開催します。
- ⑤2020東京パラリンピックを盛り上げるため、ふれあいスポーツプラザで実施しているアスリート育成の指導協力や、ボッチャなどの障害者スポーツの普及や振興に努めます(拡充)。

## III 地域貢献活動等

### 1 地域に密着したサービスの実施

#### (1) 地域における公益的な活動

- ①「渋川市高齢者等あんしん見守りネットワーク」に参加し見守り活動を行います。
- ②プールの無い保育園や小・中学校にプール授業の場を提供します。
- ③児童を対象に障害者や高齢者に対する思いやりの心を育成する子供福祉体験を行います。
- ④障害を理解し、共生社会を目指すために障害者週間記念イベントを開催します。
- ⑤環境美化を目的とした近隣の道路を清掃するクリーン作戦を行います。

#### (2) 利用者サービス

- ①整形外科相談・内科相談・リハビリ相談を毎月各1回行い、利用者の身体機能や健康の回復をサポートします。
- ②看護師による健康相談を行い、利用者一人一人に合った水中運動を指導します。
- ③渋川市内の駅や団地を中心に交通手段のない障害者や高齢者のため、平成30年度に引き続きの送迎バス路線の見直しを行い、より利便性の高い路線を目指します(拡充)。

- ④近隣の障害者・高齢者グループホームの要望や公民館活動等との連携によりデマンド送迎を行います。

## 2 環境保全に対する取組と人にやさしい福祉のまちづくり

### (1) 3 R 運動の実施

- ①リデュース（抑制）として灯油年間使用量の削減と、電力の省エネに努めます。
- ②リユース（再利用）としてゆうあい図書館にて古本の貸出しを行います。
- ③リサイクル（再生利用）として古新聞、プルタブ、ボトルキャップの回収を行います。

### (2) 環境美化活動の実施（利用者・ボランティア・職員が三位一体となって実施）

- ①プール北斜面、ロータリー広場に花卉を植える花いっぱい運動を行います。
- ②ラウンジ外側にグリーンカーテンを造るグリーン化計画を実施します。

### (3) 人にやさしい福祉のまちづくり

- ①EAP（エマージェンシー・アクション・プラン）として職員が定期的に館内外を巡回し危険箇所を除去・改良を行います。
- ②障害者・高齢者に「見易く、分かり易く、使い易い」を基本に掲示物などを見直すなどユニバーサルデザインを積極的に採用していきます。

### (4) 利用者の意見を聴いて更に利用者満足度アップを図ります。

- ①利用者の苦情や要望に迅速に対応するため、年間2回利用者満足度調査を実施します。
- ②「ゆうあいポスト」、「ありがとうボックス」を併せて設置し、意見や要望をより把握し事業の改善に努めます。
- ③群馬県社会福祉事業団情報保護規程に基づき個人情報を保護します。
- ④群馬県社会福祉事業団情報公開規程に基づき必要な情報を開示します。

### (5) 当館の利用者が設立したクラブを応援します。

- ①歌声コーラス、手話コーラス、リズムダンスクラブの活動に協力し利用者の交流を応援します。

## IV 研修の充実

### (1) ボランティア・職員研修

障害者・高齢者が安心して施設の利用ができるよう、日頃より障害者の介助や当館の教室・イベントをサポートしていただいているボランティアへの研修を行うとともに、職員の専門知識向上に努めます。

#### ①ボランティア研修

- 登録ボランティアに対して必要な知識や技術及び救助訓練等の研修を年間4回行います。
- 新規ボランティアの心得を習得するためのボランティア講習会を年間1回行います。

#### ②職員研修

- 知識向上・泳力向上・防災訓練・法令遵守の4区分として研修を行い、障害者スポーツ指導員として必要な専門知識向上を目指す職員研修を年間4回行います。
- 利用者の安全を確保するため、公開訓練を含む水難訓練を年12回行います。

## VI 平成31年度 利用者数目標（「成果目標」は障害者利用者数12,000人）

	利用者数総数	障害者利用者数(内数)
平成31年度目標	46,970人	12,050人